

行政視察報告書

令和6年5月30日

長浜市議会議長 様

長浜市議会議員

伊藤喜久雄

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

1. 視察等名 令和6年度議会運営委員会行政視察研修
2. 視察期間 令和6年5月20日（月）～5月21日（火）
3. 視察場所及び目的
 - ①長野県伊那市議会
議会改革の取組みについて
 - ②長野県駒ケ根市議会
議会改革・議会機能向上推進委員会の取組みについて
4. 調査内容感想等

・視察の目的

長野県伊那市議会

■オンライン委員会の整備・要綱制定について

■議会改革について

長野県駒ケ根市議会

■議会機能向上推進委員会の取組みについて

■事業評価について

■議会基本条例の評価・検証について

長 浜 市 議 会

・視察内容

伊那市議会

■オンライン委員会の整備・要綱制定について

令和元年12月に発生が確認された新型コロナウイルス感染症の蔓延により令和2年度から機運が出てくる。

運用に向けては、①出席要件、②委員会の運営、③公開と傍聴、④表決、⑤情報セキュリティ対策、⑥議事録、⑦執行部の対応などを検討。

新型コロナウイルス感染症対策に関わらず、オンライン会議の運用が可能となるよう伊那市議会委員会条例の改正、会議規則の改正、オンライン委員会要綱の制定を行う。

令和2年12月24日 ICT推進委員会の開催

令和3年1月26日 議員懇談会の開催

令和3年2月8日 ICT推進委員会の開催

令和3年2月15日 ICT推進委員長から議会運営委員長に報告

令和3年3月19日 令和3年3月定例会へ議案提出

オンラインを活用した会議として、①経済建設委員会協議会、②ICT推進委員会、③政策討論会を開催

■議会改革について

令和2年6月議会改革特別委員会を設置し、①請願・陳情の審査方法の見直し（令和2年12月定例会から新方式で本運営）、②予算・決算審査の見直し（令和3年9月定例会にて決算特別委員会設置、令和4年3月定例会にて予算特別委員会設置）、③議会基本条例の見直し（令和3年12月定例会にて一部改正）を行う。

令和4年6月設置の議会改革特別委員会（令和6年3月までの間）では、※政策サポーターの導入で市民参加の機会増強、※所管事務調査のガイドライン策定や政策サイクルの導入、政策提言など議会機能の強化を図る。

駒ヶ根市議会

■議会機能向上推進委員会の取り組みについて

会議規則に基づき「協議又は調整を行うための場」の一つとして位置付け。
所掌事項は、①議会基本条例に規定する事項の検証に関すること、②議会機能向上に関すること、③政策提言及び政策立案の推進に関すること。

委員は、議会運営委員と初当選議員の代表者で構成。

同委員会で協議した内容を議会運営へ提案し、最終的に全員協議会などを経て決定。また機動力アップとともに、より専門的な協議、検討が行えるよう、議会機能向上推進委員会傘下に、令和5年度から「ワクワク未来部会」を設置し推進を図っている。

■事業評価について

駒ヶ根市総合計画との整合性に着目した上での評価や、市施策の目標設定に対する達成進捗状況の評価検証を行い、議会として執行機関へ提言を行うことを目的に平成29年度から実施。令和3年度からは「事業評価シート」を作成し、総合評価や今後の方向性などについて具体的な要望・提言を行う。

これまで7年間にわたり実施されてきたが、今年度はいったん休止し、見直しを図る。

■議会基本条例の評価・検証について

平成26年の制定から7年が経過していること、当選後2年が経過し議会全体の動きが見えてきたこと、議員任期最終年に向けて基本条例を再認識し議会活動に繋げて行くことなどから、令和3年度に規定されている各条文の内容や、これまでの議会活動が条文の目的を達成しているかどうかなどについて評価・検証を行う。特に令和4年度以降は、検証結果に基づき明確になった課題（議員間討議の活性化、ICT活用など）の解決を図るべく、議員研修の充実やクールダウンミーティングの取組みを実施

- ・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

伊那市議会での「政策サイクル」シートは、常任委員会での所管事務調査や事業評価の手法、政策討論会を経た政策提言が体系的にわかりやすく纏められており、改めて政策提言にあたっては、各常任委員会がその機能を十分に発揮することの必要性を痛感しました。

駒ヶ根市議会の「議会機能向上推進委員会」は、会議規則に基づいた「協議等の場」であるものの、実質的な議会機能向上を推進する組織であり、今後の参考となりました。